

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2019年3月27日水曜日 21:52
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2019年3月27日発行
添付ファイル: 190330第8回さんぎ大学講和会チラシ.pdf

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2019年3月25日発行 ◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】トヨタ産業技術記念館 第8回 さんぎ大学 講演会のご案内【追加情報あり】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 2019年度総会・第158回例会 2019年5月18日(土) 名城大学校友会館(天白キャンパス正門前)
総会終了後、本年1月23日にお亡くなりになった中部産業遺産研究会元会長である田中浩太郎名誉顧問の追悼行事を開催する予定。
- 佐々木享没後5周年記念シンポジウム(後援事業) 2019/11/23 13:00~19:00 名古屋大学

【2】トヨタ産業技術記念館 第8回 さんぎ大学 講演会のご案内【追加情報あり】

トヨタ産業技術記念館では、以下の通り、第8回「さんぎ大学 講演会」を開催致します。

トヨタ産業技術記念館の成田副館長様より以下の通り案内を頂きましたのでお送りします。

中部産遺研見学会のメールを借用しまして、3/30今週の土曜日に迫りました、第8回さんぎ大学の再案内を差し上げます。

今回は、産技館主催のさんぎ大学初の「自動車」関連です。

1話目は、「日本のレストアの権威者」木村治夫氏によるレストアの話です。

2話目は、産技館職員の桔梗氏による、200トンプレスの分解整備の話です。

特に2話目は、15分ほど話したあと自動車館内の現地現物で説明いたします。

講話会参加者は、展示場への入場無料です。ぜひご参加ください。

プレス機現地説明につきましては、まずホールA(先日のシンポと同じ会場)で講演を行い、見学に移る際にシールをお渡しします。

シールを貼った方は、係員の誘導で、自動車館に無料で入場いただきます。

説明後、現地解散とします。そのまま館内見学いただいてもOKです。

詳細は

<http://www.tcmit.org/information/news/2019/03/31579>

を御参照下さい。

今回は自動車館の展示にまつわる話を二つご用意致しました。まずはつい先頃追加展示しました初代クラウン（スタンダード）と初代カローラ（スプリンター）の話です。この2台のレストアをお願いした木村治夫氏は、”日本のレストアの権威者”と評され、またその実績を認められ、一昨年日本自動車電導入りも果たしています。

今回はその木村氏にお越し頂き、旧車の収集からこだわりのレストアまで、幅広くお話し頂きます。

二つ目は終戦直後に国内製造されたプレス機の話です。当館所有 1947（昭和 22）年製プレスの分解調査結果を基に、当時の時代背景から説き起こし、プレス機の特徴を照会します。

今回は実物観察を交えながら、ご希望の方には実際に操作して頂く機械も設けております。

終戦直後の苦しい維持期、過酷な条件下、プレス機を作り上げた先人の想いに触れていただければ幸いです。

日時 2019年3月30日 土曜日 14:30~16:30

会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA（名古屋市西区則武新町 4-1-35、名鉄栄生駅下車徒歩 5 分）

内容

「真の自動車レストアを目指して」～産業遺産としての古いクルマのレストア活動～

講師：木村 治夫氏（元・株式会社キムラ電熔機製作所 代表）

「終戦直後の国産プレス機の考察」～1947（昭和 22）年製 200 トンプレスの分解整備を通じて～

講師：桔梗 千明氏（トヨタ産業技術記念館 館員）

参加費 無料です。参加申し込みは必要ありません。

ご都合の付く方はぜひ、ご参加下さい。



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL：<http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail：hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

第8回 さんぎ大学 講演会

参加費
無料

「真の自動車レストアを目指して」

～産業遺産としての古いクルマのレストア活動～

「終戦直後の国産プレス機の考察」

～1947(昭和22)年製 200トンプレスの分解整備を通して～

主催 トヨタ産業技術記念館



初代クラウン (レストア前)

わざ
匠の技術で
大変身!



(レストア後)

2019
3/30 (土)

14:30 ~ 16:30 (開場 14:00)

トヨタ産業技術記念館 ホールA

名古屋市西区則武新町4-1-35

◆先着 100名◆

ごあいさつ

当館では、週末ワークショップなど小中学生向けのイベントを常時行っていますが、大人向けの講演会やワークショップを望む声もいただいております。そこで「さんぎ大学」と名付け、当館主催の大人向けイベントを実施することといたしました。

今回は自動車館の展示物にまつわる話を2つご用意いたしました。まずはつい先ごろ追加展示しました初代クラウン（スタンダード）と初代カローラ（スプリンター）の話です。この2台のレストアをお願いした木村治夫氏は“日本のレストアの権威者”と評され、またその実績を認められ一昨年日本自動車殿堂入りも果たしています。今回はその木村氏にお越しいただき旧車の収集からこだわりのレストアまで幅広くお話しいただきます。二つ目は終戦直後に国内製造されたプレス機の話です。当館所有 1947（昭和 22）年製プレスの分解調査結果を基に、当時の時代背景から説き起こしプレス機の特徴を紹介します。今回は実物観察を交えながら、ご希望の方には実際に操作して頂く機会も設けております。終戦直後の苦しい時期、過酷な条件下プレス機を作り上げた先人の想いに触れていただければ幸いです。

◆ プログラム

14:30 開会あいさつ

14:35 講演① 「真の自動車レストアを目指して」

～産業遺産としての古いクルマのレストア活動～

講師 木村 治夫

15:20 質疑応答

15:35 講演② 「終戦直後の国産プレス機の考察」

～ 1947（昭和 22）年製 200 トンプレスの分解整備を通して～

講師 桔梗 千明

16:20 質疑応答

◆ 講師紹介



木村 治夫（元・株式会社木村電熔機製作所 代表）

1941年名古屋市生まれ。大同工業高校電気科卒業後、㈱木村電熔機製作所入社。1959年伊勢湾台風により水害を被ったダットサンの収集を開始。その後数々の旧車のレストアに邁進。忠実なる真のレストアを貫き日本のレストア活動を牽引した功績が認められ 2017年に日本自動車殿堂入り。



ききょう
桔梗 千明（トヨタ産業技術記念館 館員）

1989年トヨタ自動車入社後、焼結、鍛造、接合、計測分野の生産技術開発に従事。世界初の連続可変バルブタイミング（VVT-i）開発にて粉末冶金工業会賞受賞など新部品の製造法、設備開発を担当。2010年より摩擦攪拌接合の開発に従事。2015年まで摩擦攪拌点接合（FSSW）ISO 策定日本委員。2016年にトヨタ産業技術記念館へ赴任。



200 トンプレス外観



無停止杆換式豊田自動織機（G型）



トヨタスタンダードセダンAA型乗用車



ご案内

- 開館時間 / 9:30～17:00（入場受付は16:30まで）
- 休館日 / 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
- 入場料 / 大人500円・中高生300円・小学生200円
※団体割引あり
- ※学校行事での入場は半額（小学生・引率の先生は無料）
- ※65歳以上の方は無料
- ※障害者手帳をお持ちのご本人とその付添の方1名は無料

交通

- 名鉄 / 名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- なごや観光ルートバス「メーグル」 / 名古屋駅バスターミナル11番のりば
「トヨタ産業技術記念館」（敷地内）下車すぐ
- 「名古屋駅」からタクシー利用で5分
- 無料駐車場（乗用車220台、大型バス10台）



トヨタ産業技術記念館
〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
TEL:052-551-6115 FAX:052-551-6199



フォロー募集中!



Webサイトは
こちら!
<http://www.tcmi.or.jp/>

